

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	国際森林年への取組（新規）
流域名	阿武隈川・会津・磐城・奥久慈の各流域（福島県内全域）
実施箇所及び実施日	福島県郡山市熱海町熱海地内（ユラックス熱海） 平成23年11月13日 新聞記事での連載（5回） 平成23年10月27日～31日
取組の背景及び必要性	<p>平成23年は国連の定める「国際森林年」であり、年間を通じて、全てのタイプの森林の持続可能な森林経営、保全等について、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべきとされ、従来から行っている森林の公益的機能PR推進の取組を強化し、広く県民に対する普及に努める必要がある。</p> <p>なお、福島県内全域にわたる取組であり、各流域間の連携により取組を推進する。</p>
取組の内容	<p>福島民友新聞社と福島中央TVにおいて、福島県内全域での国際森林年記念事業を展開する計画であったが、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故等の影響により、国有林での森林整備の計画は中止となり、「ふくしまの再生 森と水シンポジウム」のみの開催となった。同シンポジウムには林野庁次長がパネラーとして参加したほか、「福島国有林の森を歩く」をテーマにしたパネルを出展した。</p> <p>また、「ふくしまの森を忘れない」と題した福島県内の国有林の見所を紹介した連載記事への協力を行い、5回にわたって掲載された。</p>
国有林担当部局・役割	関東森林管理局指導普及課 福島県内の各森林管理署、各支署 ：パネル展、新聞掲載記事への情報提供
連携協働相手先・役割	福島民友新聞社、福島中央テレビ ：企画運営

【参考資料】

取組名 国際森林年への取組

- 「ふくしまの再生 森と水シンポジウム」に参加した県民



- 同シンポジウムで挨拶する沼田林野庁次長



- 沼田林野庁次長は、パネラーとして参加



- 同シンポジウムに出展した「福島県の国有林の森を歩く」をテーマにしたパネル展



- 展示したパネルを見る参加者



- 「ふくしまの森を忘れない」と題した連載記事、県内の国有林を紹介



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	緑の雇用対策へのフィールドの提供（継続）
流域名	磐城
実施箇所及び実施日	磐城森林管理署管内 平成23年6月1日から 平成24年1月31日まで
取組の背景及び必要性	林業就労者の確保と定着に向けて企業からフィールドの提供が求められている。
取組の内容	・緑の雇用現場技術者育成対策事業（育成研修）に係る国有林のフィールド5.5haにおいて6事業者により実施した。
国有林担当部局・役割	磐城森林管理署：フィールドの協定
連携協働相手先・役割	立木購入業者・林業事業者：（研修生の受け入れ）

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供・林業体験活動等（継続・拡充）
流域名	磐城
実施箇所及び実施日	磐城森林管理署新舞子浜国有林 平成23年8月20日、 いわき市立好間中学校 平成23年7月14日 四時ダム 平成23年7月21～31日 いわき市21世紀の森 平成23年10月1日・2日
取組の背景及び必要性	地球温暖化防止等環境問題に対する関心が高まる中で、森林及び林業に理解と関心を深めることが重要である。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いわき青年林業会議所は、「新舞子浜」において、約20人が参加し抵抗性クロマツの植栽箇所（H21・H22）の下刈作業を実施した。（平成23年8月20日）</li> <li>・ いわき市立好間中学校1学年（96名）を対象にいわき市の出前講座、「森林と地球環境」という内容で実施。森林の大切さを学習した。（平成23年7月14日）</li> <li>・ 「森林と湖に親しむ旬間」としてダム祭りに参加、今年は四時ダムへパネル展示し、森林の大切さを学習。（平成23年7月21～31日）</li> <li>・ いわき復興祭に参加し、木工クラフトを通し森林の大切さを学習し、震災からの復興に向けた機運を醸成した。（平成23年10月1日・2日）</li> </ul>
国有林担当部局・役割	磐城森林管理署職員：企画・実行・講師
連携協働相手先・役割	いわき青年林業会議所、好間中学校、ダム祭り実行委員会、いわき復興祭運営委員会：企画・募集・実行

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	低コストで壊れにくい路網整備
流域名	磐城
実施箇所及び実施日	磐城森林官署前山国有林 平成23年7月13日
取組の背景及び必要性	今年度から導入された森林作業道については、各林業事業体及び関係する職員も関心が高く研修会の必要性を感じているところである。
取組の内容	<p>磐城流域磐城地区流域活性化センターと共催による現地研修会を、国有林の現場で実施した。(参加者58名) 局販売課から講師を招き森林作業道作設指針と施行について講義を受けた。</p> <p>また、磐城林業協同組合により実際にバックホウを使って掘削と簡易な構造物の作設を行った。</p>
国有林担当部局・役割	磐城森林管理署職員：企画・実行 局販売課：講師
連携協働相手先・役割	磐城流域いわき地区流域活性化センター：企画・実行

【参考資料】

取組名

低コストで壊れにくい路網整備

○ 局販売課企画官からの講義



○ バックホウによる掘削実演



○ 集合写真

